

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「イオン、ネットスーパー顧客宅に配送用ロッカー」
- 2) 「“食品総選挙” 変動起きるか 阪神百貨店梅田本店、150店人気競う」
- 3) 「“ふるさとチョイスCafe” 東京・有楽町に7月1日オープン」
- 4) 「道-1グランプリ初開催 丹後王国“食のみやこ”にて開催決定」

1) 「イオン、ネットスーパー顧客宅に配送用ロッカー」

イオンはネットスーパーの顧客宅に配送用のロッカーを設置する。顧客が外出していても商品を届けられるようにして、不在による再配達を減らす。会費を取る代わりに送料の負担を軽減するなど、料金体系や配送時間も従来のサービスと変える。大手小売りで顧客宅にロッカーを設置するのはイオンが初めて。生協が手掛ける定期宅配に近いサービスを取り込むことでネットスーパー事業の収益確保につなげる。

6月に千葉県と栃木県の2店で実験を始めた。2017年2月期中に5店程度に広げ、効果を検証。17年3月以降の本格展開を目指す。

設置する樹脂製のロッカーは高さが約1メートル、幅と奥行きは約50センチメートル。サービス開始時にイオンの担当者と運送事業者が顧客宅を訪問し、ロッカーの設置場所を決める。開閉は専用のカギを使う。ロッカーに冷蔵機能などはないものの、保冷剤などを使うことで生鮮食品や冷凍食品も扱う。

会費は月540円。イオンのネットスーパーは5000円以上の商品購入で送料を無料としている地域が多い。ロッカー利用の場合は1500円以上で無料とする。

5000円以上は日々の買い物ではまとまった金額となり、従来のネットスーパーの利用では飲料などのまとめ買いが多い。このため、利用頻度にばらつきがあり、配送車両の稼働率が落ちるといった課題があった。配送料の負担を減らし、定期的な利用を促す。

ロッカーに届ける時間は日中の正午-午後5時など、従来のネットスーパーの午前8時-午後8時より短くする。おおむね2時間ごとに区切る時間指定は新たな会員サービスではなくす。当面は会費制と従来のサービスを併存し、一部地域ではその都度サービスを選べるようにする方針。「夜間に持ってきてほしい」といった需要にも応える。会費や送料無料とする購入額などは先行して始める店舗での利用動向を踏まえ、柔軟に設定していく。

ネットスーパーの市場は年々拡大し、現在は約1200億円。最大手とされるイトーヨーカ堂は16年2月期の売上高が15年2月期比10%増の468億円だった。イオンも売り上げや利用者数は伸びが続いているという。

トラック運転手の不足が続くなか、インターネット通販の普及による小口配送の増加もあり、配送コストの負担は重くなっている。再配達のコストも膨らむなか、ネット通販向けでは楽天や日本郵便が駅などにロッカーの設置を進めており、ネットスーパーでもイオンや西友が一部店舗に受け取りロッカーを導入している。

生鮮食品なども扱うネットスーパーは配送速度や温度管理など必要なサービス水準が高いうえ、天候で大きく利用者数が変わる。効率的な仕組みが築きにくく、各社が配送方法や料金体系の実験を繰り返している。

最近では宅配ロッカーが設置されたマンション等も増えているが、やはり一戸建てやアパートなどは設置が少ないだろう。また、イオン専用のもではなく一般のロッカーを設置したい方もいるのではないだろうか。宅配についての課題は今後も増えていきそうだ。

2) 「“食品総選挙” 変動起きるか 阪神百貨店梅田本店、150店人気競う」

7月10日投開票の参院選に合わせて“食の阪神”をPRしようと、阪神百貨店梅田本店は、地下1階食料品売りの約150店が参加する「阪神の食品総選挙」を10日まで開催している。参加者の投票で「デパ地下」の人気商品（店）を選ぶという企画で、“選管担当”のスタッフは「選挙権年齢が『18歳以上』に引き下げられた実際の選挙と同様、18、19歳など若者の参加も期待したい」と張り切っている。

売り場を（1）生鮮（2）惣菜（3）和菓子（4）洋菓子類（5）飲料・おつまみ類の5つに分類。売り場ごとに（1）おおさか生鮮の会（2）日本惣菜党（3）甘党にっぽん（4）スイーツで元気になる会（5）自由飲酒党とそれぞれ政党名を付けた。本物の店員が”党首”にふんしたポスターには、「無糖派層に甘味で挑む！」（甘党にっぽん）や、「マンネリ食卓に新鮮力」（おおさか生鮮の会）といったキャッチコピーが躍る。

参加者は、各店がアピールするイチ押しの商品のうち、お気に入りの商品を販売する店舗名を、会場で配布している投票用紙に書いて投票。ナンバーワンの売り場（政党）と店・商品（候補者）を選ぶ。投票した参加者（有権者）は、抽選でプレゼントが当たる。

食品総選挙は3年前の参院選時に初めて実施し、今回32回目。前回は1位「クラブハリエ（バームクーヘン）」2位「阪神名物いか焼き」3位「さかな屋の寿司」だった。

何とも大阪らしい発想で、思わず顔がニヤけそうな取り組みだ。選挙に興味のない人もこんなふうに「うまいこと言う」売場があれば、それが記憶に残り興味を持つきっかけになるのではないかと思う。新たに選挙権を得た若者たちも、親御さんと一緒に買物に来て「模擬選挙」を目にすれば、また感じ方が変わるかもしれない。どの党が選挙を勝ち抜くのか、結果にも注目したい。

3) 「“ふるさとチョイスCafe” 東京・有楽町に7月1日オープン」

ふるさと納税総合サイト『ふるさとチョイス』を企画・運営する株式会社トラストバンクは、2016年7月1日(金)11時に、「ふるさと納税」と「地域」のPRを目的とした店舗『ふるさとチョイスCafe』をオープンする。

2015年11月30日(月)より2週間の期間限定で、「ふるさと納税」を気軽に知ることができる・相談できるカフェ『となりのふるさと』を提供し、延べ500人超の来店、好評があった。継続して都心と地域とを結ぶ場を提供したいとの思いがあり、今回、常設店オープンの運びとなった。

近年、「ふるさと納税」が様々なメディアで紹介され、普及は広まりつつあるが、本制度の詳細や実際に寄附金が地域でどのように役立てられているか等についてはまだまだ認知されていないのが現状だ。そういった状況を鑑み、寄附のお礼にもらえるお礼の品だけでなく、ふるさと納税制度についての正しい理解、地域での寄附金の活用(使い道)について、より多くの方に知ってもらうためには、WEBサイトからの情報発信だけでなく、リアルなコミュニケーションを通じて伝えることが重要と考え、出店することとした。全国各地の自治体職員や生産者・事業者の皆様にも直接来ていただき、地域PRの場としてスペースを活用する予定。

■店舗所在地

新有楽町ビル地下1階(有楽町駅から徒歩1分)『ふるさとチョイスCafe』
所在地：〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目12-1

全国のアンテナショップが多い有楽町の特徴を活かし、今後は店舗を拠点に、周辺のアンテナショップや駅前広場を活用したイベント等を実施し、「有楽町にあれば日本各地の魅力に触れられる」というイメージを根付かせていけたらと思っている。

ふるさと納税という言葉は認知されていても、返礼品だけに注目が集まり実際に寄付金があったことに使われているのかは、あまり知られていないのが現状だろう。興味がある方にとってこういう場はとてありがたい。ネット化が進む中、このようにコミュニティの場が設けられるのは嬉しいことだ。

4)「道-1グランプリ初開催 丹後王国“食のみやこ”にて開催決定」

今年初めて開催される、全国の「道の駅」の“グルメ日本一”を決めるイベント『道-1グランプリ』（主催：道-1グランプリ実行委員会）が、今年9月24日、25日の2日間にわたり、丹後王国「食のみやこ」（京都府京丹後市）で開催されることが決定した。

西日本最大級の道の駅 丹後王国「食のみやこ」を運営する株式会社丹後王国（本社：京都府京丹後市弥栄町、代表取締役社長 伊藤真人）は、地元企業や生産者ととともに、昨年4月に道の駅をリニューアルオープンした。

丹後王国「食のみやこ」では、地域食材の販売のほか、園内10箇所に設けたレストランやカフェで“丹後の食”を提供している。また、地域観光の“ゲートウェイ機能”として、地元の様々な魅力を情報発信しており、今年1月には国土交通省が選定する「重点道の駅」に選ばれ、オープンから1年間の来場者数は約53万人に達した。

そしてこの度、道-1 グランプリ実行委員会が全国で初めて開催する、全国の道の駅の“グルメ日本一”を決定する『道-1 グランプリ』が、9月24日、25日の2日間にわたって丹後王国「食のみやこ」で開催されることが決定した。

丹後王国「食のみやこ」では、今後も地域特産品の開発や6次産業化を推進するとともに、丹後地域の産業の活性化を目指す。

『道-1グランプリ』概要

名称：道-1グランプリ（読み：みちわん）

日程：2016年9月24日(土)、25日(日)

開催場所：丹後王国「食のみやこ」（京都府京丹後市弥栄町鳥取123）

内容： 全国の道の駅のグルメ日本一を決める食イベント。参加する「道の駅」がそれぞれの特産品を持ちよって出店し、9月24日、25日の2日間にご来場されるお客様の投票によって「グランプリ」を決定する。

出店方法：「道の駅」の参加エントリーはHPから

主催： 道-1グランプリ実行委員会

（ご参考）丹後王国「食のみやこ」施設概要

場所：京都府京丹後市弥栄町鳥取123

URL：<https://tango-kingdom.com>

営業時間：開園時間9：00-22：00（12月-2月の冬季は変更有）

定休日： 無休

※飲食店・販売所の営業時間・定休日は各店舗で異なる

※詳細はHPをご確認ください

入園料：無料

場所も近く入園料も無料ということでぜひ行ってみたいと思った。

道の駅も各地の特産品や独自の発展を遂げているところも少なくないので、これを機に各地の活性化に繋がればいいと思う。

地元企業の頑張りを世に知ってもらえる良い機会になるのではないかと感じた。